

発刊の辞

館長 小和田武紀

文部省が当館を設置した目的は、学界の要望に基づき、戦後の変動によって散佚・湮滅の危険にさらされた文書・記録類を調査・収集し、学術史料として研究者・一般の利用に広く供し、わが国の史学研究に資することにあった。昭和二十四年開設以来、当館が収集した史料は、主として近世以降の文書・記録類約四〇万点、ほかに民族資料ならびに日本実業史関係資料約五万点、併せて約四五万点に達している。

当館ではこれら収集史料の整理を行ない利用者の便宜をはかるために、「史料館所蔵史料目録」としてこれまで一三集を継続刊行し、さらに今年度からは「史料館所蔵民族資料図版目録」の発行を始めた。

その間、史料の整理に伴ない、そのための基礎的な研究をも行ない、僅かながら蓄積も行なわれ、その成果の一部は史料目録および解題、館報や定例研究発表会などの刊行物や行事を通じて公表して来たが、最近ようやく研究体制の組織的整備の方向に向かって、各研究室の近世史料に関する基礎的な調査研究がその緒につくこととなった。この期に際し、これら調査研究事業の成果発表の場としてここに本誌を刊行し、もって史学の発展に資する一助としたい。

もとより研究員の人員も少なく、調査研究の諸条件にも幾多の制約をまぬがれないし、その成果も果してどの程度学界に寄与できるか内面忸怩たるものがあるが、今後とも館員一同協力して努力する所存である。当館事業はもとより本誌発展のために各位の大方の御支援・御批判を仰ぐことを願って発刊の辞としたい。

昭和四三年二月一日